

令和 2 年度学校評価結果報告書

目指す学校像

「一人一人が輝き 夢と誇りのもてる 爽やかな学校」

(1) 明るい元気な挨拶を交わす和やかな学校 (2) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校

(3) 生き生きと学びがあふれる学校

職	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価欄
				評価	現状と課題	
1 組織・運営	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	A	校務支援システムを活用し、職員会議の内容や、連絡事項等の情報共有が行われている。さらに校務支援システム等で情報共有し、共通理解・共通行動の意識をもっと高めていく。	A 88% B 0% C 0% D 0% 無回答 12%
	2	各分掌・特別委員会活動の活性化	【校務分掌の各主任を中心に分掌内で課題を共有し、前年度の反省を生かした計画を立てて実践している。】	B	各分掌、協力して職務の遂行にあたることができているが、複数の校務分掌を抱えていて、一部手が回らないところがある。各校務分掌の主任の担当者の見直しを図り、適材適所で分掌を利用する工夫を行っていく。主任に仕事が集中しないように、仕事の分担を考え実践していく。	A 13% B 74% C 0% D 0% 無回答 13%
2 学習指導	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに合った手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	B	定期テスト前の質問日の設定などニーズには応じているが、さらに個別に対応できるプリント等の準備、コロナを想定した、授業計画案を組む必要がある。今後も定期試験前や、それ以外にも必要に応じて放課後の補習を実施する。特別な支援が必要と判断される場合は、保護者と連携し、Wisc, QU, hyperQU などのテストを実施して支援策を検討する。また、効果的に個人 PC を活用する方法を検討する。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	B	全体的にはできているが、意欲的でない生徒はまだいる。集中力が持つような授業の流れをさらに工夫をしていく必要がある。学級経営・学年経営が基本となるので、意欲を掘り起こすこと、種をまき、芽を出させていく。また、周囲と連携を取りながら、徹底した指導を行っていく。学習ルールを確認し、全職員で共通理解のもと指導を行う。(チャイムあいさつの見届け等) (加中 5ヶ条)	A 38% B 62% C 0% D 0% 無回答 0%
	5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	B	コロナ禍のため、工夫した授業の展開が難しい部分があったが、ICT等を利用し、具体的でイメージしやすい授業を行った。また、小テストや課題解決型学習の計画的な実施、一斉型の授業のみの脱却、生徒の知識、技能の定着、向上を目指して更なる授業改善を行う。	A 12% B 88% C 0% D 0% 無回答 0%
	6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では適切に協調学習の場を設定し、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	B	今年度はコロナの影響で難しい部分があったが、その制限がある中ではあるが、その中なりに工夫して行うことができた。タブレット等の活用など、コロナ禍における主体的に学習する授業について各教科で検討する。また、話し合うことは、目的ではなく手段なので、課題解決のために協調学習が有効になるような、課題設定をしていく。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%

3 生徒指導・教育相談	7	自己指導能力(自己存在感・共感的人間関係・自己決定)を育成する指導の推進	【学校生活アンケート、時場礼アンケート調査結果が80%以上になるような取組をしている。】	B	アンケート結果に対して、素早い対応を行うことができています。 ☆教員と生徒が運動していくこと ☆生徒を認めながら(教師が生徒をよく観察)、自己肯定感を高められるような指導を行う。	A 25% B 63% C 0% D 0% 無回答 12%
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、いじめ報告30%減を目指す。】	A	いじめアンケートを実施し、それを基に共通理解と素早い対応が行われている。また、職員同士で声を掛け合い、一人が抱え込まないような体制が整えられており、職員間の情報交換が良くされていた。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%
	9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細かな対応を行い、保護者との連携も行っている。】	A	生徒指導委員会から事項が適宜降りてくるため、対応がしやすい環境ができています。「生徒指導ファイル」等で情報の共有ができており、多くの教員が生徒の変化を気にかけて、声かけ等を行っている。教師の更なるコミュニケーション能力の向上を目指す。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%
4 健康教育	10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動(3日欠席→家庭訪問)「保護者との連携」などの対応を行っている。】	A	教員同士、相談員、SC、保護者と、それぞれ連携をとっている。「教育相談ファイル」等で情報の共有ができており、関係のある教員を中心に生徒の変化を気にかけて、声かけ等を行うなど早期発見・早期対応が図られていた。教育相談に関するアンケートやhyper-QU(ソーシャルスキル・満足度・自己有用感等に関する業者アンケート)を活用し、生徒の実態理解を進める。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%
	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	A	疾病予防については迅速な判断と保健室との連携により高い意識で行動できており、掲示や委員会の活動が活発に行ったが、まだ、感染症対策が徹底されていない部分も見られた。マスクをきちんとしていない生徒には、最低限のマナーとして着用するように指導するなど、もう一度年度当初に出された『加納中 新しい学校生活様式』を確認する。	A 74% B 13% C 13% D 0% 無回答 0%
	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	B	定期的な安全点検の実施しており、修理も迅速に実施するなど、事故の未然防止に努めているが、安全点検で挙がったものがすぐに直せないこともあった。適宜安全点検を行い、報告を怠らないようにする。	A 38% B 62% C 0% D 0% 無回答 0%
5 学習環境	13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めたりしている。】	B	登下校指導が計画的かつ随時に行われており、機会を捉えて交通安全の意識を高めることができた。ヘルメット着用など、以前より意識を高める指導ができています。しかし、交通安全に対する生徒の意識がまだ低い。登下校指導を輪番で行う計画の提案などを行っていく。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
	14	ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実	【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】	A	校内で統一し、ユニバーサルデザインを意識した、よい環境づくりがなされている。引き続きユニバーサルデザインを意識した教室掲示を行っていく。	A 88% B 0% C 0% D 0% 無回答 12%
	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	B	生徒・職員全体が清掃指導に取り組めており、短い時間で一斉によく行っているが、中には清掃時の流れやルール(無言清掃)が曖昧な点もある。生徒にもっと進んで清掃活動に取り組ませたい。清掃指導をより一層充実させる必要がある。	A 25% B 63% C 0% D 0% 無回答 12%

